

科目名	国語表現	単位数	3単位	学科・学年	全科 3年																																												
使用教科書	国語表現	大修館	副教材等	国語必携 パーフェクト演習 三訂版																																													
学習目標	<p>国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。</p> <p>これまでの国語学習で身につけた知識・技能を確認し、国語表現諸分野の知識・技能が確実に身につけられるように、そして獲得した知識・技能を組み合わせ、自己の人生と社会生活の充実へと接続・展開できる、適切に表現する力、総合的なコミュニケーションの力を高める。</p> <p>新聞投稿や懸賞論文応募などを通し、パブリックな場面で自分の考えを表現する力や自分の意見を表現するという積極性を高める。</p>																																																
学習評価	<p>○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">①関心・意欲・態度</td> <td>国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。</td> </tr> <tr> <td>②話す・聞く</td> <td>自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。</td> </tr> <tr> <td>③書く</td> <td>自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。</td> </tr> <tr> <td>④知識・理解</td> <td>表現と理解に役立つための音声、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、知識を身につける。</td> </tr> </table>  <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>評価方法\観点</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習状況の観察</td> <td>◎</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>自己評価を含む</td> </tr> <tr> <td>発表・スピーチ</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td></td> <td>○</td> <td>発表・相互評価を含む</td> </tr> <tr> <td>提出物</td> <td>○</td> <td></td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>授業プリント・感想文・報告文</td> </tr> <tr> <td>プリント</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>小テスト（語句・漢字等）</td> </tr> <tr> <td>定期考査</td> <td></td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>年間3回程度</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">※表中の◎は観点の中でより重視するところです。</p>					①関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。	②話す・聞く	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	③書く	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。	④知識・理解	表現と理解に役立つための音声、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、知識を身につける。	評価方法\観点	①	②	③	④		学習状況の観察	◎				自己評価を含む	発表・スピーチ	○	◎		○	発表・相互評価を含む	提出物	○		◎	○	授業プリント・感想文・報告文	プリント	○		○	◎	小テスト（語句・漢字等）	定期考査			◎	◎	年間3回程度
①関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。																																																
②話す・聞く	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。																																																
③書く	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。																																																
④知識・理解	表現と理解に役立つための音声、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、知識を身につける。																																																
評価方法\観点	①	②	③	④																																													
学習状況の観察	◎				自己評価を含む																																												
発表・スピーチ	○	◎		○	発表・相互評価を含む																																												
提出物	○		◎	○	授業プリント・感想文・報告文																																												
プリント	○		○	◎	小テスト（語句・漢字等）																																												
定期考査			◎	◎	年間3回程度																																												
履修上の注意	<p>*授業は必要に応じて、板書したりプリント等を利用するので、ノートやファイル綴じを準備してください。</p> <p>*成績は定期テストと授業の中で提出を課す作文などにより、評価します。</p> <p>*提出物は期限を厳守してください。（定期テストと同じ扱いで点数化し、評価します。）</p>																																																

学期	月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い	学習活動（評価方法）
1 学 期	4	5 声のコミュニケーション 1 言葉のストレッチ体操 ・聞くこと、話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見をする。 ・コミュニケーションの楽しさを感じる。 *グループワーク（自他理解）	5	表現学習を始めるにあたり、まず、聞くこと、話すこと、伝え合うことを見つめ直します。	年間を通じて次の学習活動を行います。 ○単元や授業展開の中で、その時々学習目標に応じた言語活動（「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」）を集中的に行います。 ○言語活動を通じて、適切に表現したり、的確に理解したりする能力を身に付けます。 ○表現と理解に役立てるために、音声・文法・表記・語句・漢字などについて学習します。 *漢字検定への挑戦を促します。 【学習状況観察】 【発表】 【相互評価】 【授業プリント】 【提出物(実作)】 【1学期期末試験】
	5	1 書いて伝える 1 整った文を書く ・主述の関係、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、文を書くために大切なことを理解する。 2 わかりやすい文を書く ・読点を打ち、あいまいにならない表現を理解する。 3 文のつながり ・接続表現の働きを理解し、文のつながりを知る。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。 *漢字、語句の学習	16	表現方法や技術を確認するとともに、正しく、伝わりやすい表現方法の基礎を学びます。 漢字や語彙の学習をとおし、これらを習得していく習慣を形成するとともに、日本語の特徴に関心を持ち、解釈や表現に生かそうとする意識を育てます。 懸賞論文・作文、新聞投稿に挑戦します。	
	6	3 自己PRと面接 1 自分を見つめて ・経験から得たことや学んだこと、自分の長所など考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。 2 効果的な自己PR ・自分の長所を表現したキャッチフレーズを作る。 3 将来の自分を考えよう ・就きたい職業、学びたいことに必要なことを調べる。 4 志望動機をまとめよう ・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。 *履歴書の作成	20	自分の進路を意識し、面接試験で自分を表現できるように自己PR文を作成します。 志望先について十分に情報収集し、志望動機を作成します。 履歴書を作成します。	
2 学 期	9	3 自己PRと面接 5 面接にチャレンジ ・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方をする。 *模擬面接	18	自己を知り、場面を判断し相手に配慮して、自分の意見を述べるという面接の学習をとおして、社会への参加能力を育てます。	○同上 【学習状況観察】 【発表】 【相互評価】 【授業プリント】 【提出物(実作)】 【2学期期末試験】
	10	2 小論文・レポート入門 1 小論文とは何か ・小論文の基本的な書き方を理解する。 2 反論を想定して書く ・自分の意見と対立する意見を考えながら書く。 3 資料を読み取って書く ・課題文、表やグラフの内容を理解し、要約する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・発想を広げるための方法を理解する。 ・発想を広げるための方法を活用して、小論文を書く。 *国語常識・SPIに挑戦	18	基本的な小論文・作文を作成します。 文章の「型」を各種のトレーニングを通して習得し、論理的文章を書くための基礎力を養成します。 国語常識やSPIについて学び、国語常識の知識を増やします。	
	11	6 会話・議論・発表 2 議論して結論を出す ・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 ・積極的に参加し、結論を出すために貢献する。 3 プレゼンテーションの工夫 ・視覚的資料を用い、効果的なプレゼンテーションをする。 4 メディアを駆使する 1 通信文を書き分ける ・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	15	これまで培ってきたコミュニケーションのさまざまな技術を会議やプレゼンテーションにおいて実践するとともに、話し言葉と書き言葉、言語と非言語の違いに気付き、場や道具などがコミュニケーションの重要な要素だという認識を育てます。	
3 学 期	12	5 年賀状や礼状を作成します。	5		
	1	(第2部) 4 「わが町自慢」のパンフレット作り ・情報を適切に編集し、読み手を引きつけるような効果的なパンフレットを作る。 *本のポップづくり *新聞の読み比べ *漢字、語句の学習	8	様々な表現に触れ、社会でも通じる表現をしり、自分の表現法を振り返ります。	○同上 【学習状況観察】 【発表】 【相互評価】 【提出物(実作)】 【卒業試験】